

松枯れ防止用樹幹注入剤

ネマデクチン液剤

メガトップ®液剤

農林水産省登録 第19325号

(株理研グリーン登録)

性状：黄色澄明水溶性液体

毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

消防法：第4類第1石油類

有効年限：3年

包装：40ml×60、80ml×30、120ml×20

有効成分：ネマデクチン……………3.6%

その他成分：水、界面活性剤等……………96.4%

(アセトニトリル (PRTR・1種) 38.0%)

(トルエン (PRTR・1種) 4.0%)

メガトップ®は、株理研グリーンの登録商標です。

特長

- 松樹幹注入業界で最も少ない注入液量です。
- 他の樹幹注入剤と比べ注入時間が短い。
- 加圧式注入はほとんどの場合必要ありません。

適用病害虫名および使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤及びネマデクチンを含む農薬の総使用回数	使用方法
まつ (生立木)	マツノザイセンチュウ	胸高直径 (樹幹部) 10~15cm 40ml 15~20cm 40~80ml 20~25cm 80~120ml 25~30cm 120~160ml 30cm以上 直径5cm増すごとに40mlを順次増量	マツノマダラカミ キリ 成虫発生3ヶ月前 まで	1回	樹幹部に注入孔をあけ、 注入器の先端を押し 込み樹幹注入する

使用方法

- ドリルで樹幹に斜め下方に向けて孔を開けてください。孔の中の木くずの残らないようにしてください。
1樹で複数のアンブルを使用する場合には、注入孔を分散させてください。その場合、まわし打ちや、たて打ちをする
とマツに傷害を与えることになるので、注意してください。
 - 使用する木工ドリル刃：直径6mm
 - 孔を開ける角度：下方約30° くらい
 - 孔の深さ：小中径木は約5cm程度大径木は約9cm程度
- ノズルキャップの先端を折ってください。折る時は容器をぬかしたり、眼に向けしないでください。
- 注入孔に容器ごとノズルが密着するようにしっかりと差し込んでください。キャップが緩まないよう注意してください。
- 基底部の凹部に目打ちで小穴を開け、自然圧で薬剤を注入してください。
- 施工30分後に薬剤が順調に入っているか確認してください。入りにくい場合は、注入場所を替えてください。
打ち替える時には前の孔に近い位置は避けてください。
- 薬液が完全に注入された後、容器を抜き取り、樹幹の孔にペースト状の癒合剤を十分注入してください。

使用上の注意事項

- 本剤はマツノマダラカミキリ成虫によって伝播されるマツノザイセンチュウの増殖防止を目的とするもので、マツノマダラカミキリ成虫には効果はありません。
- 本剤注入後、薬液が樹全体に移行するのに、2~3ヶ月を要するので、本剤の注入時期はマツノマダラカミキリの発生する3ヶ月前までに行ってください。
- 本剤の残効期間は通常5年間であるが、樹種、樹齢、樹勢、生育場所、気象などの各種条件によって変動するので、再注入時期については林業関係機関等の指導を受けてください。
- 本剤治療効果が無いので、樹脂流出に異常を呈している松や枝葉が変色した松には使用しないでください。
- 見かけ上の胸高直径に比べ材積量の少ない庭園松や矯正された松、また移植後3年以内の松等は樹勢が弱いため使用しないでください。
- 薬剤注入孔は直径6mmのドリルで地上1m前後の樹幹部に斜め下方に向けて深さ4~5cm程度の孔とし、大きな節や横枝の直下は避けてください。

- 注入孔を開けたら直ちに注入器の先端を折り速やかに孔にねじ込み、薬液がもれないように深く挿入してください。注入器の基底部の凹部に目打ちで穴を開け、自然圧で薬剤を注入するので押ししたり圧を加えたりしないように注意してください。
- 薬液がまつの形成層にふれないように作業時に十分注意してください。
- 一樹に複数の注入器を使用する場合は注入孔を樹幹の周囲に分散させて注入してください。
- 薬剤の注入は晴天の日を選んで日中に行ってください。
- 薬剤注入量は樹幹の胸高直径の大きさによって増減してください。
- 注入の終了した孔は、癒合剤、コルク栓等で充填または蓋をし、雨水や雑菌等が侵入しないように処理してください。
- 薬液が完全に注入されたことを確認後、空容器は速やかに回収し、環境に影響を与えないよう適切に処理してください。注入終了までに要する時間は樹齡、樹勢によって異なるので注意してください。早いもので1時間以内、遅いものでも3時間程度で完了することが多いです。
- 本剤は自動車、壁などの塗装面に注入液が付着すると変色する恐れがあるのでこぼさないよう注意してください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法など誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、林業関係機関等の指導を受けてください。

安全使用上の注意事項

- 誤飲などのないように注意してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用后(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 火気をさけ、食品と区別して、直射日光が当たらない低温な場所に密栓して保管してください。